



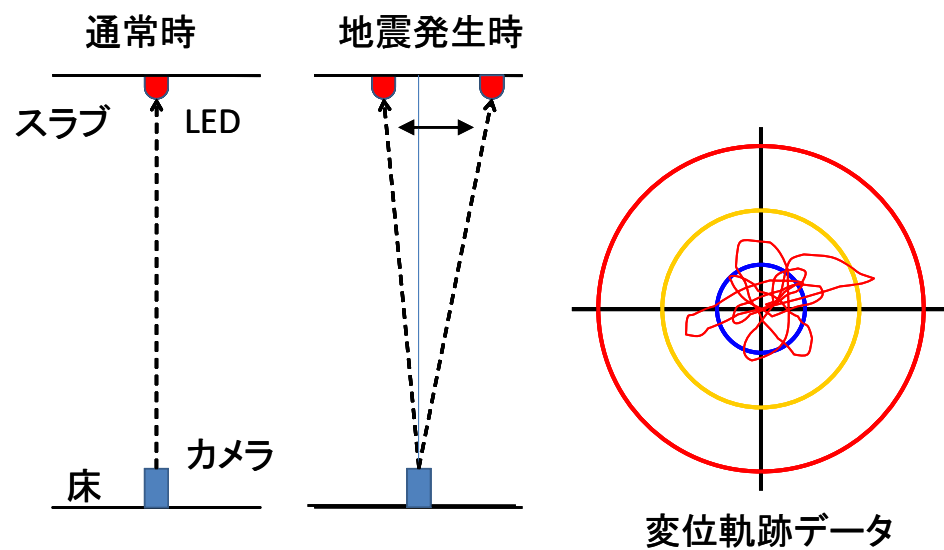
地震時建物変位計測装置 **Qrbit**



地震発生時の建物の揺れをカメラで撮影し、建物の層間変形などの変位を計測し、建物の損傷程度を推定する装置です。

計測方法

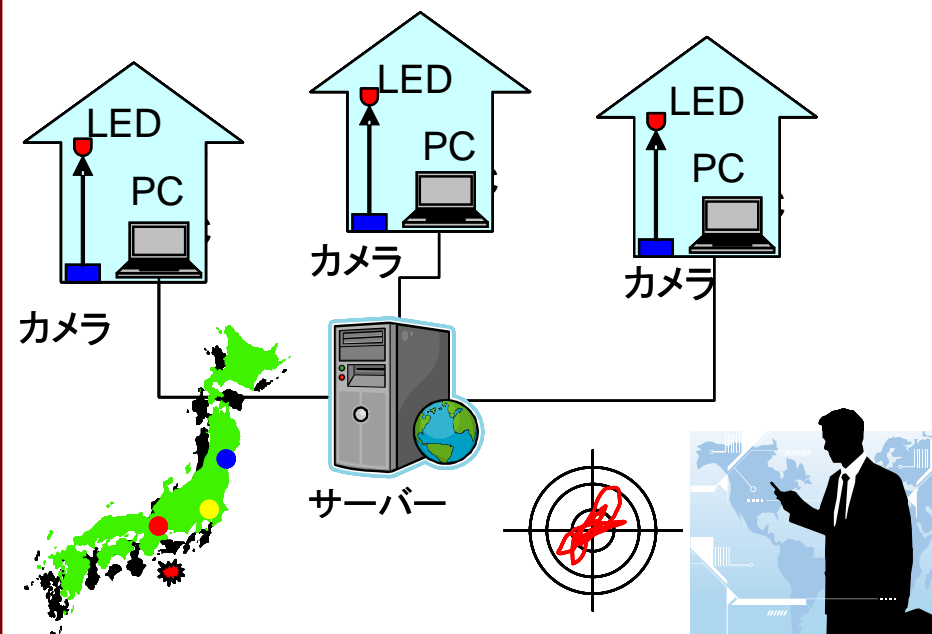
床上にカメラ、上階スラブ下にLEDを配置し、地震時に生じるLEDの動きをカメラで計測します。LEDの動きは、設置階の揺れの軌跡を表し、地震時の変化を感知して計測を始め、一定の時間計測してデータをインターネットを介して送信します。



計測のイメージ

情報配信システム

地震が発生し、建物の変形を感知すると計測を開始し、その軌跡図を建物管理者などにメールサーバーを介して送信されます。建物管理者などは、携帯電話でどこにいても建物の損傷状態を把握することができます。

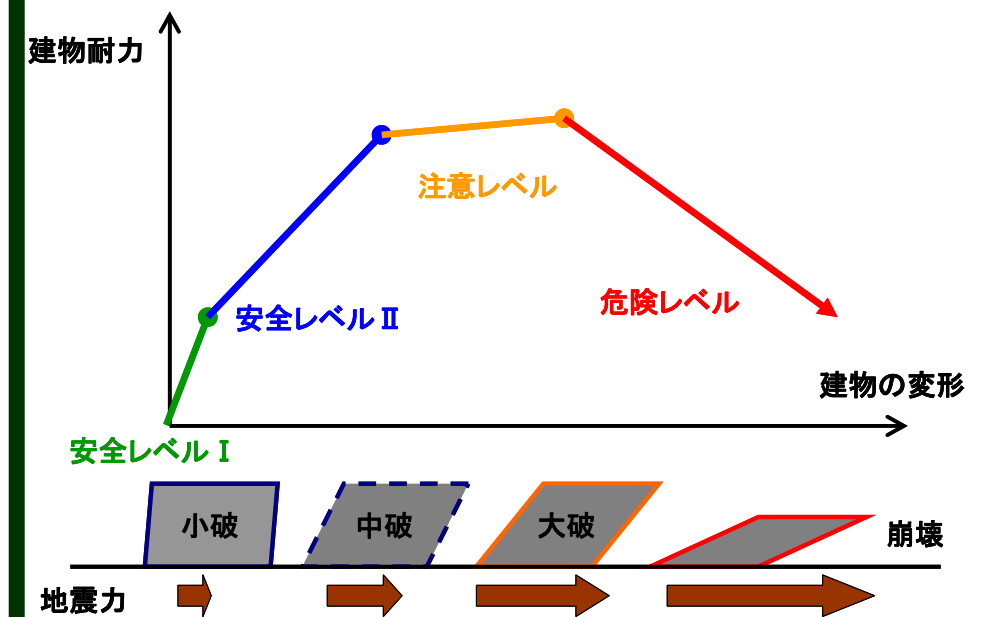


地震時データ収集・配信システム

損傷評価

建物の損傷状態は、4つの段階に分類されます。

- 安全レベル I (建物小破, 継続使用可)
- 安全レベル II (建物中破, 継続使用可)
- 注意レベル (余震注意, 限定的継続使用可)
- 危険レベル (継続使用不可)



建物の損傷レベル